

第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会
新潟地区一次・二次予選会

別紙資料



全軟野連発第 366-3 号
令和 5 年 12 月 20 日

各 位

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
専務理事 小林三郎
技術委員長 元木三十志
(公印省略)

学童部のバットの使用制限について (通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、12月7日開催の令和5年第5回理事会にて、下記の通り取り扱いを改訂致しましたので、通知します。本件については、競技者の安全面を最優先した対応となりますので、ご対応いただきますようお願い致します。

以上、何卒よろしくお願い致します。

記

■学童部バットの使用制限

安全面を考慮し、学童部では、一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を 2025 年より禁止する。なお、一般用バットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限を行わない。

注) 少年用バットの使用制限は行いません。

以上

事務担当者：阿部・吉岡
03-3404-8831



全軟野連発第 371-1 号

令和 5 年 12 月 25 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
専務理事 小林三郎



捕手（審判員含む）用マスクの SG 基準義務化に係る特別措置の終了について（通知）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、当初 2022 年シーズンインより捕手（審判員含む）用のマスクに SG マーク合格品の着用を義務付けることとしておりましたが、コロナ禍の影響による原材料不足等の理由により製品の流通が十分でないとのことで、2023 年シーズンまで義務付けの緩和を行ってまいりました。各メーカーに改めて確認を行ったところ、現在はほぼ通常通り流通されており、販売に支障がないとの確認が取れたため、2025 年から義務付けを行うことといたします。なお、ユーザーの買い替え等を考慮し、2024 年までは猶予期間といたします。

以上、何卒よろしく願いいたします。

記

■義務付け緩和措置の終了について

2024 年の猶予期間をもって特例措置を終了し、2025 年から義務付けを行う。

以上

事務担当者：吉岡大輔 Tel：03-3404-8831



全軟野連発第 32 号

令和 6 年 1 月 23 日

都道府県支部

理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

専務理事 小林三郎



軟式野球用およびソフトボール用、捕手用マスク・プロテクター・レガーズの
商品統一化について（通知）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、ミズノ社からの提案を受け、本連盟では、ユーザーおよびメーカーの購入および製造・販売に係る経費負担軽減を目的に捕手用マスク・プロテクター・レガーズの軟式野球とソフトボール兼用商品の販売を承認することと致しました。詳細については下記の通りとなりますのでご確認くださいませようお願い致します。なお、捕手用マスクに関しては、SG 基準がありますが、軟式野球およびソフトボール双方の基準に適合する製品のみ、兼用商品として流通します。また、捕手用防具公認社の全てに対し、同様の通知を行いますことを申し添えます。

以上、何卒よろしくお願い致します。

記

■商品統一化について

1. 統一商品について

捕手用マスク、プロテクター、レガーズ（ヘルメットは対象外となります）

2. 公認マークについて



例)

*左図は、公認マークの表示の一例です。製品によっては、横並びで表示される等、表示配列が異なる場合があります。

3. SG 基準について

捕手用マスクは SG マークがつきませんが、「軟式」「ソフト」両方の表記となります。

(例) 軟式一般用と 3 号ゴムソフトボール用で使用可能



4. 既存製品の使用について

現在流通している既存の「JSBB 表示のみ」の製品の使用も可能です。

*捕手用マスクは、SG ラベルで用途表示されている競技でのみ使用可能ですが、本連盟では、捕手用マスクへの SG 基準義務付けは、2025 年から対応を行います。

■問合せ先：全日本軟式野球連盟 吉岡大輔 Tel: 03-3404-8831



全軟野連発第 34 号
令和 6 年 1 月 25 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人全日本軟式野球連

専務理事 小林三郎



試合開始前および試合終了後の整列方法について(通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記につきまして令和 5 年 5 月 10 日全軟野連発第 128 号にて通知させていただいておりました通り、2024 年シーズンからコロナ禍前の整列方法といたします。それに伴い試合前後の監督または主将の握手もコロナ禍前同様に行います。

以上、何卒よろしくお願い致します。

記

■監督の整列・挨拶について

学童・少年：監督はベンチ前で整列・挨拶

一般：監督も選手同様に本塁を挟み整列・挨拶

■添付書類：令和 5 年 5 月 10 日全軟野連発第 128 号（写）

新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインの廃止について(通知)

以上



全軟野連発第 74-1 号
令和 6 年 2 月 29 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
専務理事 小山吉男
技術委員長 元木三十志
(公印省略)

グラブの取り扱いの改訂について (通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、1月31日開催の令和6年第1回理事会にて、下記の通り取り扱いを改訂いたしましたので、通知いたします。

ご確認いただき、各支部内でのチームならびに審判員等の関係者への周知徹底をお願いいたします。

以上、何卒よろしくお願いたします。

記

■取り扱い改訂の理由について

以下、「競技運営ならびに競技者等の安全面に支障がない」と判断し、また、「軟式野球の競技性」から使用を認めることとする。

1. 投手用グラブの色制限に係る規制緩和について

公認野球規則「3.07 投手のグラブ」に以下の通り、規定されているが、本連盟では規制緩和を行うこととする。

● 公認野球規則 3.07 投手のグラブ

(a) 【注】アマチュア野球では、投手のグラブについては、縁取り、しめひも、縫い糸を除くグラブ本体（捕球面、背面、網）は1色でなければならない。

(b) 投手は、そのグラブの色と異なった色のものを、グラブにつけることはできない。

■改訂後の全軟連の取り扱い

・捕球面・背面・ウェブは2色まで可

ただし、白/グレー/PANTONEの色基準14番より薄い色の使用は禁止

・ハミダシ、紐、指かけ、柄模様についても競技運営ならびに競技者等の安全面に支障がないと判断し、当連盟では制限をしないこととする。

■添付資料

グラブの取り扱い一覧表（令和6年2月現在）

以上



グラブの取り扱いについて

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

	投手	野手
本体カラー	捕球面・背面・ウェブは2色まで可 ただし、白/グレー/PANTONEの色基準14番より薄い色の使用は禁止	制限なし
ハミダシ	制限なし	制限なし
ヘリ革	制限なし	制限なし
紐	制限なし	制限なし
縫い糸	制限なし	制限なし
指掛け	制限なし	制限なし
刺繍	氏名・背番号・チーム名などの刺繍糸の色、大きさ共に制限なし	制限なし
柄模様	制限なし	制限なし
商標	制限なし	制限なし
マーク類 ラベル	制限なし	制限なし

令和6年2月